

最近の会話から

三年 進藤美華子（平成元年度）

「お姉ちゃんあど高校さいてしまうの。」

「なんかさみしくなるの。」

我家では最近そんな言葉が多く耳に入ってくるようになりました。それもそのはず、三月になったらもう酒田に行かなければならなくなります。

この言葉を一番多く口にするのは、今は父が一番多いような気がします。それに前より私と父の会話かだいぶ多くなりました。高校の事や、将来の事やこれからの勉強のことなどいろいろ相談するようになりました。

三年生になると父も母も気をつかってくれるようになりました。時々コーヒーを持ってきてくれたり、夜食を作ってくれたりします。妹もあまり私に反抗しなくなりました。前は毎日のようにけんかして、泣かせていました。

あと少しで家族ともこの島とも別かれなければならなくなります。早く高校に行きたいという気持ちも多いけれど、家族や、友人と別れるのはとてもいやです。

ではここで一句

別れざる あおぞら学級 十六人

と話がずれてしまいました。

「なんかさみしくなるの。」

という父の気持ちはどんなものなのでしょう。

ではここで一句

心配で いっぱいですか お父さん

という感じではないでしょうか。

酒田の学校では高校を卒業するまで家族といっしょに生活できますが、ここでは中学校を卒業するとすぐ家族とはなれて暮らさなければなりません。そんなときはとても不便だなあと 생각합니다。最近の会話から思う事を書いてみました。では最後に一句

受験生 合格するまで がんばろう